



健康・医療

問 問い合わせ先 ☎ 電話番号 📠 FAX番号 🕒 利用時間 🏠 休館日

がん検診など

いずれも予約制です。実施日は市政だよりに掲載します。料金は無料になる場合があります。お問い合わせは各区健康課（⇒P.22～25）へ。

検診・検査名			対象年齢	料金	実施場所
受診は2年度に1回	子宮頸がん検診		20歳以上女性	400円	各区保健福祉センター、健康づくりサポートセンターなど
				1,200円	実施医療機関
	乳がん検診		40歳代女性	1,300円	各区保健福祉センター、健康づくりサポートセンターなど
			50歳以上女性	1,000円	
			40歳代女性	1,500円	
		50歳以上女性	1,200円	実施医療機関	
受診は1年度に1回	胃がん検診	胃内視鏡	50歳以上の偶数年齢	1,800円	健康づくりサポートセンター、実施医療機関
		胃透視	40歳以上 ※2	600円/1,800円※4	各区保健福祉センター、健康づくりサポートセンター、実施医療機関など
	大腸がん検診		40歳以上	500円	各区保健福祉センター、健康づくりサポートセンター、実施医療機関など
	前立腺がん検診（10・2月のみ実施）		55歳以上男性	1,000円	実施医療機関
	肺がん検診	胸部X線撮影	40歳～64歳	500円	各区保健福祉センター、健康づくりサポートセンターなど *ハイリスク者：喫煙指数（たばこ1日本数×喫煙年数）が600以上の人
		+喀痰細胞診検査（ハイリスク者のみ）	50歳～64歳のハイリスク者*	1,200円 （500円+700円）	
	結核・※1 肺がん検診	胸部X線撮影	65歳以上	無料	
		+喀痰細胞診検査（ハイリスク者のみ）	65歳以上のハイリスク者*	700円	
	骨粗しょう症検査		40歳以上	500円	各区保健福祉センター、健康づくりサポートセンター
胃がんリスク検査（ピロリ菌検査等）		35、40歳 ※3	1,000円	各区保健福祉センター、健康づくりサポートセンター、実施医療機関など	
B型・C型肝炎ウイルス検査		満20歳以上 ※3	無料	各区保健福祉センター、実施医療機関など	
歯科節目（ふしめ）健診		25、30、35、40、50、60、70歳	500円	実施歯科医療機関	
妊産婦歯科健康診査		妊婦、産後1年以内の人	無料	実施歯科医療機関	

※1 65歳以上の方は、法律で年に1回の胸部X線撮影の受診が定められています。病院等で受診機会がない場合は、結核・肺がん検診をご利用ください。

※2 満70歳以上の方は、より安全な検診実施のため、内視鏡検査の受診をおすすめします（胃透視検査は受診できない場所があります）。40歳代の偶数年齢で胃透視検査を医学的な理由で将来にわたって受診できない人は、胃内視鏡検査を受診できます。

※3 過去に検査を受けたことがある人を除きます。

※4 実施医療機関で胃透視を受診する場合は、料金1,800円です。

生活習慣病予防のための健診

生活習慣病予防のための健診（身長・体重・血圧測定・血液検査・尿検査など）です。受診できるのは1年度に1回で、年齢や加入している医療保険ごとに受診方法や料金が異なります。

福岡市健康づくり
イメージキャラクター
よかろーもん



健診名	対象者	料金	問い合わせ先
よかドック （市国民健康保険の特定健診）	40～74歳の市国民健康保険加入者（保険証※1と受診券が必要）	500円 ※2	集団健診・よかドック総合窓口 ☎ 0120-985-902 📠 0120-931-869
特定健診	40～74歳の市国民健康保険以外の医療保険加入者		ご加入の医療保険者にお問い合わせを
後期高齢者健康診査	満75歳以上などの後期高齢者医療制度加入者	500円	福岡県後期高齢者医療広域連合 ☎ 651-3111
よかドック30 サーティ	30～39歳で職場などで健康診査を受ける機会のない人	500円 ※2	保健医療局地域保健課 ☎ 711-4374 📠 733-5535
生活習慣病予防健診	40歳以上の生活保護世帯などで医療保険未加入者	無料	

※1 保険証が廃止された場合の対応については「けんしんナビ」などでお知らせします。

※2 料金は無料になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

健康づくりサポートセンター

健康づくりをサポートする施設として、よかドック、よかドック30、各種がん検診などを土日祝（昼間）および平日（夜間）に実施するほか、健康づくりに関する相談、糖尿病や禁煙などの各種健康教室などを実施しています。日程などはお問い合わせください。

健康づくりサポートセンター

☎ 751-2806 📠 751-2572

🕒 9:00～17:00

🏠 12/29～1/3

健康に関する相談・教室

各区地域保健福祉課・健康課（⇒P.22～25）では、成人・高齢者の健康、栄養と運動、母子、心の健康、難病などの各種相談や教室を実施しています。

依存症・ひきこもり専門相談・発達障がい・性同一性障がい専門相談

アルコール・薬物・ギャンブルを含む依存症、ひきこもりに関する相談、発達障がい、性同一性障がいに関する相談に専門のスタッフが応じます。

■精神保健福祉センター

依存症・ひきこもり専門電話相談

☎ 737-8829

☎ 火・木曜 10:00～13:00 (祝日・年末年始を除く)

発達障がい・性同一性障がい専門電話相談

☎ 737-8829

☎ 第1・3水曜 10:00～13:00

(祝日・年末年始を除く)

ひきこもりに関する相談

おおむね20歳以上で自宅にひきこもり、学校や仕事に行かず、家族以外との親密な対人関係がない状態が6ヵ月以上続いている場合、お困りの人の相談に応じます。

■福岡市ひきこもり成年地域支援センター

「よかよかルーム」

☎ 716-3344

☎ 月～金曜 10:00～17:00、第1火曜 12:00～19:00

(祝日・年末年始を除く)

自殺予防相談

自殺を考えるほど悩んでいる人、その支援者等の相談に応じます。

■精神保健福祉センター

(自殺対策推進センター)

☎ 737-1275

☎ 月～金曜 10:00～16:00 (祝日・年末年始を除く)

依存症(家族・本人)、ひきこもり(家族)教室

アルコール・薬物依存症およびひきこもり者の家族を対象とした教室、および薬物依存症者(本人)を対象として回復支援プログラムを開催しています。全て予約制です。

■依存問題(アルコール・薬物等)で悩む家族のための教室

■ひきこもり家族教室

■薬物依存症者回復支援プログラム(本人向け)

申込み・問い合わせ: ☎ 737-8829

☎ 火・木曜 10:00～13:00

(祝日・年末年始を除く)

医療に関する相談

医療安全相談窓口

医療に関する相談に対応します。ただし、診療の内容や診療行為の是非などの判断に関する相談にはお答えできません。また、法的アドバイスを希望する方には、弁護士による法律相談などをご案内します。

対象の医療機関がある場合は、その医療機関のある区衛生課、それ以外の場合は、お住まいの区衛生課にご相談ください。

東区	☎ 645-1081
博多区	☎ 419-1090
中央区	☎ 761-7325
南区	☎ 559-5115
城南区	☎ 831-4208
早良区	☎ 851-6567
西区	☎ 895-7072

エイズ相談(エイズダイヤル)

エイズの検査を、無料・匿名で実施しています。

東区 ☎ 651-8391

博多区 ☎ 441-0023

中央区 ☎ 712-8391

南区 ☎ 541-8391

城南区 ☎ 822-8391

早良区 ☎ 846-8391

西区 ☎ 891-0391

福岡市医療通訳コールセンター

日本語でのコミュニケーションが困難な外国人に対して、医療機関等を探す際や受診される際の電話通訳を行っています。

☎ 733-5429 ☎ 24時間・年中無休

☎ 無料(通話料は利用者負担)

医療費の助成など

特定の治療や対象者に対する医療費の助成制度があります。

■子ども医療費助成制度 ⇨ P.46

■ひとり親家庭等医療費助成制度 ⇨ P.63

■重度障がい者医療費助成制度 ⇨ P.61

■自立支援医療 ⇨ P.61

■プレコンセプションケア推進事業

30歳になる女性を対象に、卵巣内の卵子の数の目安(卵巣予備能)がわかるAMH(抗ミュラー管ホルモン)検査を500円で受けられるクーポン券を配布しています。福岡市に転入された方で、クーポン券の発行を希望する場合はご連絡ください。

■不育症検査費・治療費助成事業

特定の不育症の検査・治療を受けた場合に費用の一部を助成。

☎ こども健やか課

☎ 711-4065 ☎ 733-5534

■小児慢性特定疾病医療費助成事業

難病の子どもに対する医療費助成。18歳未満の児童が指定医療機関で国が定めた特定の慢性疾患の治療を行う場合、医療費の一部を助成。18歳到達時点で、本事業の対象者で治療の継続が必要な場合は20歳未満まで延長可。お問い合わせは各区健康課(⇨P.22～25)へ。
※手続きにはマイナンバーが必要です。

■特定医療費(指定難病)助成事業

指定難病にかかっている人に医療費の一部を助成。お問い合わせは各区健康課(⇨P.22～25)へ。

■難病相談支援

福岡市難病相談支援センターでは、難

病に関する各種相談に応じます。

☎ 643-8292

☎ 月～金曜 9:00～16:00 (祝日・年末年始を除く)

■肝炎治療特別促進事業

インターフェロン(フリー)治療・核酸アナログ製剤治療に対する医療費助成。B型・C型肝炎ウイルス性肝炎に対する治療について医療費を助成。お問い合わせは各区健康課(⇨P.22～25)または県がん感染症疾病対策課(☎ 643-3267 ☎ 643-3331)へ。

■肝炎ウイルス陽性者の初回精密検査及び定期検査費用助成事業

B型・C型肝炎ウイルス陽性者に対し、初回精密検査(1回のみ)および定期検査(年度あたり2回まで)の費用を助成します。お問い合わせは各区健康課(⇨P.22～25)または県がん感染症疾病対策課(☎ 643-3267 ☎ 643-3331)へ。

■先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

20歳以上の先天性血液凝固因子障害などがある人が対象。お問い合わせは保健医療局保健予防課(☎ 711-4986 ☎ 733-5535)または県がん感染症疾病対策課(☎ 643-3267 ☎ 643-3331)へ。

■原爆被爆者援護事業

原子爆弾によって被爆し、被爆者健康手帳の交付を受けた人は、健康管理のため毎年2回の定期健康診断や、医療費の助成を受けることができます。また、本人の健康状況などによっては、健康管理手当、保健手当などの手当の支給を受けることができます。お問い合わせは各区健康課(⇨P.22～25)または県がん感染症疾病対策課(☎ 643-3267 ☎ 643-3331)へ。

■アピアランスケア推進事業

がんの治療をされた方に対し、医療用ウィッグや補整下着等の購入費の一部を助成します。購入から1年以内に申請が必要です。お問い合わせは保健医療局保健予防課(☎ 711-4986 ☎ 733-5535)へ。

病院

■福岡市民病院

〒812-0046 博多区吉塚本町13-1

☎ 土・日・祝日・12/29～1/3

☎ <https://shiminhp.fcho.jp/>

☎ 632-1111 ☎ 632-0900

■福岡市立こども病院

〒813-0017 東区香椎照葉5-1-1

☎ 土・日・祝日・12/29～1/3

☎ <https://childhp.fcho.jp/>

☎ 682-7000 ☎ 682-7300

不妊・不育に関する相談

不妊カウンセラーや医師が不妊・不育に関する専門的な相談に応じます。

■不妊・不育専門相談センター

☎ 080-3986-8872

☎ 月・火・木 10:00～17:00

水・金 12:00～19:00

第2・4土 12:00～17:00

日曜、祝休日、年末年始(12/29～1/3)は休館